



当社紙パック容器
を原料の一部に配合した
再生紙を使用しました。



Joy for Life

J-オイルミルズレポート

2025

統合報告書

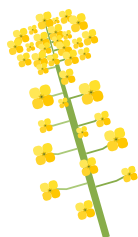


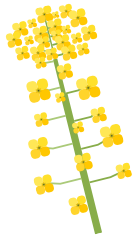


私たちは、おいしさ×健康×低負荷で

人々、社会、環境へ貢献します。

目指すべき未来「Joy for Life[®] -食で未来によろこびを[®]-」
を達成するために。





J-オイルミルズグループ理念体系

■ 目指すべき未来

植物から生まれる「あぶら」「でんぶん」「たんぱく」。
人が生きるために欠かせない3つの要素を活かして
おいしさ、そして人々の健康、社会や環境の負荷抑制に貢献し、
未来のよこごびを増やしたい。
それが私たちが目指す未来「Joy for Life®」に込めた想いです。

■ 私たちの使命

健康や環境の不安を気にせず、おいしい食事を楽しみたい。
おいしい料理をつくり、大切な人やお客様を笑顔にしたい。
その願いに応えるため、
私たちは独自の強み「おいしさデザイン®」で、
「食べる」よこごびと、
調理や生産する「つくる」よこごびも創造しながら、
食にまつわる健康・環境・食資源などの課題に真摯に向き合い、
よりよい社会に貢献します。

■ 私たちの価値／存在意義

どんな時も領域や常識、境界の壁を越え
仲間とつながり、共に挑戦します。
その先にいる人々の期待を超えて
まだどこにもない価値を創るために。
その価値と行動の基盤として
生活に欠かせないあぶらの提供を原点に、
自然の恵みから可能性を引き出し
人に真摯に寄り添い貢献していくという
私たちの存在意義を忘れず食を支え続けます。

Joy for Life

食で未来によこごびを

おいしさ×健康×低負荷で
人々と社会と環境への
よこごびを創出

おいしさデザイン®で
「食べる」と「つくる」の
課題と向き合いより良い社会に貢献する

壁を越え、共に挑み、期待を超える

個の力を高める 独自の価値を創る 仲間と価値を広げる
知と技の融合 強みの掛け算 共生・共創

真面目に一步踏み出す 人に寄り添い自己も活かす
真摯に冒険 尊重と自信

生活に欠かせないあぶらを原点に
自然の恵みから可能性を引き出し
確かな品質で食を支え続ける



CONTENTS

J-オイルミルズグループ理念体系



マネジメントメッセージ

CEOメッセージ.....	4
取締役副社長執行役員 CTOメッセージ	10



イントロダクション

数字で知るJ-オイルミルズ.....	14
J-オイルミルズの事業領域	16
J-オイルミルズのあゆみ	18



価値創造戦略

価値創造モデル	20
J-オイルミルズの強み「おいしさデザイン®」	22
CSOメッセージ.....	24
CFOメッセージ.....	27
CCOメッセージ	30
事業戦略統括部長メッセージ	31
dX	32
持続可能なサプライチェーン	34
ビジネスと人権	36
サステナビリティの考え方・推進体制	38
マテリアリティ	41
環境負荷低減に向けた取り組み	44
CHROメッセージ.....	50
人的資本	52
マネジメント鼎談「人的資本」－CEO×CHRO×社外取締役－	54



コーポレートガバナンス

役員体制	58
コーポレートガバナンスの強化.....	60
リスクマネジメント/コンプライアンス	70
ステークホルダーとの対話	73



データ編

11年間の財務サマリー.....	74
原料価格データ	76
非財務データ	77
会社情報	78

編集方針

統合報告書(以下、本レポート)はJ-オイルミルズグループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みを紹介することを目的に発行しています。

今回は、業績回復を実現させたこれまでの取り組みと構造改革を基盤に、さらなる発展を見据える新経営陣のミッションである「中長期的な成長の実現」に焦点を当てました。当社の強みである「おいしさデザイン®」を核に、マテリアリティの課題解決をテーマとし、各役員が具体的な方針と取り組みをナラティブに発信することで、方針と各施策の接続を意識して制作いたしました。

情報開示の高度化を目指し、今回も特定非営利活動法人循環型社会研究会の山口民雄氏よりご意見を頂きました。山口氏のご意見全文はWEBサイトに掲載しています。

本レポートが株主、投資家をはじめとする全てのステークホルダーの皆さまとの対話につながれば幸いです。

今後も本レポートおよびWEBサイトにおいて、当社グループの取り組みを報告し、ステークホルダーの皆さまとの対話をより促進することを目指してまいります。

報告対象期間

当社グループの2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の活動を主に報告しています。当該年度以外の取り組みも一部掲載しています。

報告対象範囲

連結子会社を含むグループ全体を対象としています。対象範囲が異なる場合は、項目ごとに対象範囲を記載しています。

発行年月

2025年9月

将来に関する予測・予想・計画について

本レポートに記載している将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいて作成したものであり、事業環境の変化などにより結果が異なる可能性があります。

参考とした主なガイドライン

- 国際統合報告フレームワーク
(ISSB: 国際サステナビリティ基準審議会)
- 価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0
(経済産業省)
- GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード(GRI)

統合報告書の位置付け

本レポートは重要情報を集約して掲載しており、網羅的なデータを含む情報開示はWEBサイトに掲載しております。

財務情報

WEBサイト: 株主・投資家情報



決算資料・有価証券
報告書など
<https://www.j-oil.com/ir/>

統合報告書



統合報告書
[https://www.j-oil.com/ir/library/
Integrate_report.html](https://www.j-oil.com/ir/library/Integrate_report.html)

非財務情報

WEBサイト: サステナビリティ



マテリアリティ・
ESG情報など
<https://www.j-oil.com/sustainability/>



当社WEBサイト
<https://www.j-oil.com/>

